

平成 30 年度 事業報告

平成 30 年度は、これまでの取組の成果を生かし、「東北絆まつり 2018 盛岡」の開催や本県初のフェリー定期航路（宮古・室蘭フェリー）の就航、三陸鉄道リアス線の開通などの機会を捉えた情報発信の強化や、ラグビーワールドカップ 2019™の釜石開催、三陸防災復興プロジェクト 2019 の開催などを見据えた国内外からの誘客強化に積極的に取り組んだところであるが、観光庁の宿泊旅行統計調査による平成 30 年の本県の延べ宿泊者数（速報値）は、前年を若干下回る状況となっている。

一方、外国人観光客については、本県初の国際定期便の花巻台北便や花巻上海便の就航など、花巻空港における国際航空便が過去最大の運航本数となったほか、県、関係機関等のプロモーション活動の展開により、台湾からの入込を中心に、外国人延べ宿泊者数は過去最高となっているところであるが、全国との比較では依然として低く、東北全体での誘客活動の更なる強化が課題となっている。

こうした状況の中、当協会では、県や関係機関と連携して大都市圏での観光 P R を実施しているところであり、観光客誘致説明会の開催、沿岸地域を視察対象とする旅行会社の招請事業や魅力ある観光地づくり支援事業などを実施し、地域の特色を生かした取組を支援したほか、当協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を新たに設置し、多様なニーズに対応した情報発信にも取り組んだところである。

また、教育旅行の誘致拡大を図るため、北海道（函館市・札幌市）、東京都及び大阪府において誘致説明会を開催するとともに、関係機関等への訪問活動を行った。

更に、国際観光の分野においては、台湾に加え、韓国、タイなどアジア地域を中心とした各種の情報発信や P R を実施したほか、外国人留学生によるモニターツアーや海外の旅行会社関係者との意見交換等の実施により外国人観光客の受入態勢整備を促進するなど、海外からの誘客拡大に取り組んだ。

その他の事業においても、県・市町村及び各観光協会や観光関係団体と連携し、本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の拡大に取り組んだ。

I 【 情 報 発 信 】

1 観光情報高度化推進事業

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種祭りやイベント、桜等の季節の情報ははじめ、三陸鉄道リアス線の開通に合わせて特集ページ「三陸へ行こうよ！」を掲載する等、インターネットを通じた情報発信に努めた。

また、バナー広告を募集し、掲載した。

(4～6月 8社、7月～9月 11社、10月～12月 6社、1月～3月 5社、延べ30社掲載)

年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
アクセス件数 (対前年度比)	2,557,610 件 (19.1%減)	2,331,869 件 (8.8%減)	2,235,477 件 (4.1%減)

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会の観光情報ポータルサイト「全国 観るなび」を活用した情報発信のため「全国観光情報データベース」の整備・運用に係る分担金を拠出し、本県観光地等の知名度向上と誘客拡大を図った。

2 パブリシティ有効活用事業

東日本大震災津波及び平成 28 年台風第 10 号からの復興支援や、イベントと連動した誘客促進を目的として、タウン誌等の媒体を活用して本県の観光情報の発信に取り組んだ。

また、FMラジオ・もりおかの情報発信番組「ひるもり」(月～木曜日 11:35～13:00 平成 30 年 6 月 26 日終了)に月 1 回出演し、県内観光情報の発信を行った。

掲載年月	雑誌等広告媒体名	発行部数等	内 容
H30. 5	タウン情報誌 7 誌 (6 月号) (アキュートほか)	25 万部(東北 6 県 及び栃木県)	・「そうだ北三陸へ行こう」 宮古～室蘭フェリー、もぐらんぴ あ、北山崎、龍泉洞、みやこ浄土ヶ浜 遊覧船等北三陸の紹介
H30. 11	旅情報誌「遊人」 (11/20 発行・冬 号)	3 万部(九州)	・「三陸地方を巡る 岩手県の旅」 滝観洞、鯨と海の科学館、釜石大観 音、奇跡の一本松等三陸の紹介
H31. 2	ラ・クラ (3・4月号)	3 万 5 千部(北東 北 3 県)	・「出かけよう、岩手の旅」 三陸鉄道、宮古～室蘭フェリー、県 内ツーリングコース等の紹介

3 観光宣伝媒体作成事業

本県全体の観光地を紹介する「岩手県観光案内図(いわて旅マップ)」を作成し、本県を訪れる観光客等に広く配布した。

- ・ いわて旅マップ(作成部数 25 万部)

4 観光キャラクター活用事業

本県のPRキャラクター「わんこきょうだい」を活用したグッズを各種観光キャンペーンなどで配布・販売し、本県の認知度向上と誘客拡大に取り組んだ。

- ・ 販売個数 わんこきょうだい携帯ストラップ 661 個
わんこきょうだい缶バッジ 351 個
そばっちぬいぐるみ 279 個
そばっちぬいぐるみストラップ 1,833 個

Ⅱ【国内誘客対策】

1 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏から本県への観光客の誘客拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都、仙台市、名古屋市及び大阪市において、旅行商品造成・仕入担当者等を対象とした観光客誘致説明会を開催した。

本県の魅力ある観光資源の紹介・宣伝を行ったほか、県内の観光・宿泊施設、行政及び観光関係団体等との商談を通じて旅行商品の造成を促し、本県観光地等の知名度向上を図った。

会 場	実施日	参加状況
東京会場 中野サンプラザ	H30. 9. 12	旅行会社（16 社 33 名）、岩手県側（53 名） 専務理事参加
仙台会場 仙台国際ホテル	H30. 10. 23	旅行会社（14 社 24 名）、岩手県側（52 名） 専務理事参加
名古屋会場 名鉄ニューグランドホテル	H30. 11. 7	旅行会社（12 社 23 名）、岩手県側（43 名） 専務理事参加
大阪会場 アートホテル大阪ベイタワー	H30. 11. 8	旅行会社（11 社 21 名）、岩手県側（38 名） 専務理事参加



全体説明会（東京会場）



個別商談会（名古屋会場）

(2) エージェント招待事業

沿岸地域の旅行商品の造成や販売促進、観光客の誘客拡大を図るため、県外旅行エージェントを招待し、沿岸地域の景勝地や観光・宿泊施設、東日本大震災津波からの復興状況等の視察のほか、観光事業者等との商談会・意見交換会を行った。

実施日	招 待 者	主な視察先等
H30. 12. 18 ～12. 20	6 名 (クラブツーリズム (株)、(株) J T B メディア リターリング、(株) 阪急 交通社、(株) びゅうトラ ベルサービス、(株) 三越 伊勢丹旅行、(株) 読売旅 行各 1 名)	久慈市 (やませ土風館、三陸鉄道こたつ列車)、田野畑 村 (北山崎、机浜番屋群、ホテル羅賀荘)、岩泉町 (ホ テル龍泉洞愛山、龍泉洞)、宮古市 (学ぶ防災ガイド、 グリーンピア三陸みやこ、浄土ヶ浜パークホテル、み やこ浄土ヶ浜遊覧船、浄土ヶ浜、浄土ヶ浜レストハウ ス)、山田町 (復興まち歩きつまみ食いツアー体験)、 大槌町 (三陸花ホテルはまぎく)、大船渡市 (キャッセ ン大船渡、碁石海岸)、陸前高田市 (奇跡の一本松、キ ャピタルホテル 1000)



現地視察 (学ぶ防災)



商談会 (ホテル羅賀荘)

2 教育旅行誘致促進事業

本県への教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである函館市、札幌市、東京都及び大阪市において修学旅行誘致説明会を実施したほか、学校、旅行会社等への訪問活動を通じ、各地域における修学旅行実施状況等の情報収集及び本県教育旅行の受入態勢等の紹介宣伝を行った。

ア 岩手県修学旅行誘致説明会

開 催 地	実施日	参 加 状 況
函館会場 (フォーポイントバイシェラトン函館)	H30. 8. 7	函館市周辺の中学校の担当教諭 (2 校 3 名) 旅行会社の教育旅行担当者 (6 社 9 名) 岩手県側 (58 名) 専務理事参加
札幌会場 (ホテルポールスター札幌)	H30. 8. 8	札幌市及び周辺の中学校の担当教諭 (10 校 14 名) 旅行会社の教育旅行担当者 (7 社 28 名) 岩手県側 (53 名) 安藤部会長及び専務理事参加
東京会場 (ホテルメトロポリタンエドモント)	H30. 8. 30	首都圏の中学・高等学校の担当教諭 (4 校 5 名) 旅行会社等の教育旅行担当者 (6 社 21 名) 岩手県側 (61 名) 安藤部会長及び専務理事参加

大阪会場 (アートホテル大阪 ペイタワー)	H30. 11. 16	近畿地方の中学・高等学校の担当教諭 (6校7名) 旅行会社等の教育旅行担当者 (7社24名) 岩手県側 (40名) 安藤部会長及び専務理事参加
-----------------------------	-------------	---



安藤部会長挨拶 (函館会場)



個別相談会 (東京会場)

イ 訪問活動

① 北海道

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H30. 6. 26、 7. 11	函館市教育委員会、函館市中学校長会、 函館地区岩手県人会、函館市内の旅行 会社 (4社)	3名 (県観光課特命課長、教育旅行 誘致宣伝部会幹事長、同事務局)
H30. 6. 27、 7. 10	北海道教育庁、札幌市教育委員会、北 海道中学校長会、札幌岩手県人会、札 幌市内の旅行会社 (6社)	4名 (県観光課総括課長及び特命課 長、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、 同事務局)
H30. 6. 28	苫小牧市内の旅行会社 (3社)	1名 (教育旅行誘致宣伝部会事務局)
H30. 6. 28	室蘭市教育委員会、(一社) 室蘭市観光 協会	1名 (教育旅行誘致宣伝部会事務局)
H30. 7. 11	旭川市内の旅行会社 (4社)	1名 (教育旅行誘致宣伝部会事務局)
H30. 7. 12	小樽市内の旅行会社 (1社)	1名 (教育旅行誘致宣伝部会事務局)

② 首都圏

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H30. 7. 23 ～ 7. 25	(公財) 日本修学旅行協会、(公財) 全国 修学旅行研究協会、首都圏の中学校及び高 等学校 (7校)、旅行会社 (6社)	5名 (県東京事務所、教育旅行 誘致宣伝部会事務局、同首都圏 支部3名)

③ 大阪府

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H30. 10. 1 ～ 10. 2	(公財) 日本修学旅行協会大阪事務所、(公 財) 全国修学旅行研究協会大阪事務局、大	2名 (県大阪事務所、教育旅行 誘致宣伝部会事務局)

	阪府高等学校校外学習研究会、大阪府内の中学校及び高等学校（２校）、大阪市内の旅行会社（６社）	
H30.12.7	大阪市内の旅行会社及び航空会社（２社）	２名（県観光課、教育旅行誘致宣伝部会事務局）

Ⅲ【受入態勢整備】

１ いわたの観光サポート事業

（１）「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

本県の観光情報を総合的に提供するため、協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置し、来訪、電話、手紙及びメール等での本県観光に係る意見、要望、相談及び資料請求等に対応した。

ア 苦情等への対応状況

区分	件数	主 な 内 容
意見	４件	① 観光パンフレットへの制作年月日等の掲載について ② 海水浴場での注意看板の設置について ③ いわた旅マップの地図上の記載について ④ ＨＰ及び観光情報誌等における沿岸地域の情報の少なさについて
要望	３件	① ＨＰ「いわての旅」内観光スポットの所在地情報の記載について ② 盛岡駅前の利便性等整備に関する要望について ③ 温泉の泉質表示について
苦情	５件	① 宿泊施設で販売したチケットに関する対応について ② 全県観光案内板の表示修正について ③ 農産物販売所での対応について ④ 宿泊施設の客室等環境について ⑤ 観光施設スタッフの対応について
その他	３件	① 宿泊施設の宴会場の予約対応について ② 県民の森内にあるシラカバの観光資源活用について ③ ホームページに掲載される施設について
計	15 件	

イ 観光情報等の問合せへの対応

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
観光相談	1,576 件	1,500 件	1,710 件
資料送付	813 件	895 件	1,169 件
合 計	2,389 件	2,395 件	2,879 件

(2) 「V」案内所運営等観光情報提供事業

外国人観光客に対して情報を提供する「V」案内所を協会内に設置し相談等に応じたほか、国内外からの観光客に対し各種情報を提供した。

ア 観光情報等の問合せへの対応状況（再掲）

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
観光相談	1,576 件	1,500 件	1,710 件
資料送付	813 件	895 件	1,169 件
合 計	2,389 件	2,395 件	2,879 件

イ うち、外国人観光客からの問合せへの対応状況

区 分	平成 30 年度
問合せ別件数	窓口：9 件 電話：3 件 F A X：1 件 電子メール：19 件
内 容 別 件 数 (重複あり)	イベント・個人旅行・観光一般：9 件 印刷物：9 件 交通：4 件 宿泊：2 件 食事：1 件 娯楽：2 件 生活、その他一般：6 件

＊V案内所：日本政府観光局が認定した外国人観光客案内所（ビジットジャパン案内所）。

(3) 「いわてバリアフリー観光情報案内所」設置運営事業

協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を新たに設置（H30.12.10）し、協会ホームページ「いわての旅」の「いわてバリアフリー観光情報案内所」ページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問合せに対応した。

相談件数 8 件

2 いわて・盛岡広域観光センター運営

本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、本県の観光情報の提供や相談対応等を行う盛岡駅 2 階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」の運営経費の一部を負担した。

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
来 訪 件 数	25,929 件	28,212 件	27,035 件
電 話 ・ 書 面	595 件	606 件	708 件
宿 泊 案 内	957 件	1,187 件	1,421 件

3 ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」（事務局：（一社）奥州市観光物産協会、加入団体 36（ガイド団体 24、支援団体 12））の活動に対し支援を行った。

4 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、「いわて観光の日」事業の一環として、各団体から他の模範とするに足りると認められて推薦された者を優良従事者として表彰した。

※岩手県主催の「平成 30 年度岩手県商工観光業表彰（知事表彰）」と合同で実施。知事、理事長及び専務理事出席

- ・ 期 日 平成 30 年 5 月 16 日（水）
- ・ 会 場 盛岡グランドホテル
- ・ 被表彰者 14 名（下記のとおり）

《宿泊・観光施設関係》5 名

推薦団体名	所属団体名	氏 名
（公財）盛岡市観光コンベンション協会	ホテルパールシティ盛岡	吉 田 栞
（一社）大船渡市観光物産協会	三陸ふるさと振興株式会社	古 水 仁
（一社）花巻観光協会	花巻温泉株式会社	佐 藤 寛
（一社）釜石観光物産協会	宗教法人石応禅寺	菊 池 祝 子
		佐 藤 多 枝

《交通機関関係》5 名

推薦団体名	所属団体名	氏 名
（公社）岩手県バス協会	株式会社富士モーターサービス	遠 藤 一 正
		高 橋 武 彦
		村 井 靖 夫
	岩手県北自動車株式会社	朽 木 琴 美
		藤 本 有 紀

《その他（観光協会、観光関連施設関係）》4 名

推薦団体名	所属団体名	氏 名
（一社）一関市観光協会	有限会社巖美溪レストハウス	小 岩 千恵子
	世嬉の一酒造株式会社	沼 倉 桂
（一社）一関市観光協会東山	東磐交通株式会社	佐 藤 則 子
（一社）釜石観光物産協会	釜石振興開発株式会社	菊 池 利 教



5 「おもてなしの心」向上研修事業

本県の「おもてなし」の向上を図るため、県内の観光事業者や観光関係団体の職員等を対象とした研修会を開催した。また、賛助会員が主催する県内各地域の接遇研修会に、協会が認定した「いわて観光おもてなしマイスター」を講師として派遣する事業を行った。

ア 「おもてなしの心」向上研修会

- ・実施日 平成 30 年 11 月 28 日（水）
- ・会 場 盛岡地域交流センター（マリオス）
- ・参加者 賛助会員・いわて観光おもてなしマイスター 41 名 専務理事参加
- ・内 容 研修 1 「インバウンド観光の受入について」
講師 （株）アール&キャリア 専属講師 浜田幸子 氏
研修 2 「バリアフリー観光の受入について」
講師 男鹿温泉別邸つばき 専務取締役 鈴木錦一 氏

イ 接遇研修会講師派遣事業 合計 8 回

実施日	実施団体	会 場	参加者
H30. 11. 12	岩泉町観光協会	岩泉町民会館	観光関係者 18 人
H31. 1. 17	しずくいし観光協会	雫石公民館	観光関係者 18 人
H31. 1. 31	軽米町観光協会	軽米町農村環境改善センター	観光関係者 19 人
H31. 2. 12	岩手県空港ターミナルビル	岩手県空港ターミナルビル	ビル内テナントのスタッフ 12 人
H31. 2. 15	一関市	一関図書館	観光関係者 32 人
H31. 2. 20	平泉観光レストセンター	平泉レストハウス	平泉観光レストセンター職員 24 人
H31. 2. 25	岩手県ゴルフ連盟	盛岡グランドホテル	岩手県ゴルフ連盟加盟ゴルフ場職員 27 人
H31. 2. 27	国民宿舎サンホテル衣川荘	国民宿舎サンホテル衣川荘	衣川荘職員 10 人

6 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年に、県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となるよう 5 月 16 日を「いわて観光の日」と定め、この日を記念して講演会を開催した。 理事長及び専務理事参加

- ・実施日 平成 30 年 5 月 16 日（水）
- ・会 場 盛岡グランドホテル
- ・出席者 61 名
- ・講 演 演題 バリアフリー観光の取組について
講師 特定非営利活動法人日本バリアフリー観光推進機構理事長 中村元 氏

IV【国際観光推進】

1 外国人観光客誘致宣伝事業

(1) 外国人観光客誘致宣伝事業

本県への外国人観光客の誘客拡大を図るため、台湾で開催された「台北国際旅行博（ITF 2018）」及び「日本東北遊楽日 2018」等に参加し、本県の観光宣伝等を行った。

また、中国と本県の交流拡大を目的とする岩手県訪問団に参加し、岩手県雲南事務所の開所式に出席したほか、中国雲南省及び上海市を訪問し、観光関係者との懇談等に参加した。

- ・ H30. 4. 16～4. 20 知事を団長とする岩手県訪問団 専務理事参加

主 催	会期・会場	来場者数等	参加概要（岩手県）
（財）台湾 観光協会	H30. 11. 23～ 11. 26（4日間） 南 港 展 覧 館 1 階・4階	376,773 人	・ 東北ブロック広域観光振興事業推進協議会として出展 - 参加：岩手県、（公財）さんりく基金、（公財）岩手県観光協会、花巻温泉(株)、(株)岩手ホテルアンドリゾートほか ・ 日本観光振興協会主催商談会（11/22） ・ ブースでの観光相談対応（11/23～26） ・ 郷土芸能（さんさ踊り）披露（11/23～26）
日本政府観 光局 日本東北六 県感謝祭実 行委員会	H30. 12. 14～ 12. 16（3日間） 華 山 1914 文化創 意産業園区	134,997 人	- 参加：岩手県、久慈市、久慈広域観光協議会、（一社）遠野市観光協会、（一社）遠野ふるさと公社ほか ・ ブースでの観光相談対応（12/14～16）
盛岡商工会 議所	H31. 3. 10～ 3. 12（3日間） 台北市内	—	台北市内での観光誘致活動等 専務理事参加



台北国際旅行博（ITF）



日本東北遊楽日（台湾）

2 外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際チャーター便歓迎行事等

本県への外国人観光客の誘客拡大を図るため、いわて花巻空港の国際航空便（台北、上海、タイ、香港）を利用して来県する外国人観光客に対して「花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会」が、横断幕や幟旗の掲出、観光パンフレットや記念品等の配布などの歓迎対応を行った。

また、台北及び上海の国際定期便の就航や、タイ国際航空チャーター便の運航初便、キャセイパシフィック航空便の運航等に合わせ、航空会社乗務員等に記念品を贈呈するなどの歓迎セレモニーを行った。

	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
合 計	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数
	19 回	1,985 人	84 回	9,802 人	131 回	14,074 人
春季（4～6 月）	15 回	1,397 人	4 回	699 人	35 回	4,080 人
夏季（7～9 月）	0 回	0 人	8 回	1,017 人	26 回	2,943 人
秋季（10～12 月）	4 回	588 人	33 回	3,479 人	26 回	2,596 人
冬季（1～3 月）	0 回	0 人	39 回	4,607 人	44 回	4,455 人



タイチャーター便歓迎セレモニー



香港チャーター便歓迎セレモニー

(2) 「V案内所」運営（いわて・盛岡広域観光センター）

盛岡駅 2 階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」内に設置されている「V案内所」の運営に対し経費の一部を負担した。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

（株）岩手銀行及び（公財）さんりく基金と連携して、外国人観光客の受入態勢の向上と、一層の誘客につなげるため、外国人留学生を対象としたモニターツアーを実施し、観光関係者の取組のブラッシュアップを図るとともに、観光関係者との交流促進を図った。

また、本県を訪問したタイの旅行会社関係者と受入態勢について意見交換等を行ったほか、ブロガー等の取材に同行し情報提供を行うなど取材への支援を行った。

ア 外国人留学生モニターツアー

実施日	招 請 者	主な視察先
H30. 11. 17～11. 18 (1泊2日)	岩手大学・岩手県立大学の 外国人留学生7名	遠野根わさび収穫体験、根浜海岸サイクリング、鶴住居復興スタジアム、大槌サイクリング、大槌チャリカフェ、蓬萊島

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営（県受託事業）

北東北三県及び北海道が共同で設置している「北東北三県・北海道ソウル事務所」への所長派遣及び事務所の管理運営を行った。

また、韓国からの観光客の誘客促進等のため、韓国で開催される観光商談会を開催し、韓国旅行会社等に観光資源の紹介宣伝を行った。

更に、本県で行われた韓国スタッフによるSNSで発信する観光素材の取材に同行し、本県観光地等の韓国でのSNSによる情報発信の強化に取り組んだ。

ア 観光商談会

実施日	会 場	参加者
H30. 7. 10	ソウルロッテホテル (ソウル市)	韓国側旅行関係者等 81 団体 134 名、岩手県観光関係者 9 団体 14 名（日本側観光関係者 32 団体 59 名） 専務理事参加

イ SNS強化情報発信事業の現地取材

実施日	参加者	主な取材先
H30. 11. 9～11. 11 (2泊3日)	韓国カメラマン 1名、ソウル事務所職員1名	雫石町内、つなぎ温泉、御所湖、盛岡城跡公園、南昌荘、岩手銀行赤レンガ館、賢治啄木青春館、盛岡市内喫茶店、釜淵の滝、花巻温泉
H31. 1. 18 ～1. 22 (4泊5日)	韓国カメラマン 1名、ソウル事務所職員1名	盛岡市内喫茶店、三陸鉄道こたつ列車、ポケモントレイン気仙沼号、狹鼻溪、一関市内喫茶店、一関温泉郷、鶯宿温泉、雫石スキー場、つなぎ温泉、わんこそば体験

4 いわて韓国総合プロモーション業務事業（県受託事業）

本県の知名度向上を図り、韓国からのフルシーズンの誘客を推進するため、韓国旅行会社の担当者等を招請したほか、韓国で開催された旅行博に参加した。

ア 招請事業

実施日	招 請 者	主な視察先
H30. 6. 22～6. 24 (2泊3日)	旅行会社6社6名、 ソウル事務所1名	きたかみCC、瀬美温泉、雫石ゴルフ場、雫石プリンスホテル、盛岡市内、狹鼻溪、中尊寺、花巻温泉バラ園、林風舎、山猫軒、つなぎ温泉
H30. 11. 28～12. 1 (3泊4日)	旅行会社7社7名	瀬美温泉、小岩井農場、盛岡手づくり村、岩手県立美術館、わんこそば体験、水沢教会、花巻

		温泉、大籠キリシタン殉教公園、館ヶ森アーク牧場
--	--	-------------------------

イ 日韓交流おまつりの出展

主 催	会期・会場	来場者数等	参加概要（岩手県）
日韓交流おまつり 2018 in Seoul 実行委員会	H30. 9. 9 ソウル C O E X 展示場	60,000 人	・ブースでの観光 P R 対応 ・観光の他、三陸鉄道、ラグビーワールドカップ 2019TM 釜石開催についても紹介 ・岩手県、三陸鉄道、岩手県観光協会



招請事業（大籠キリシタン殉教公園）



日韓交流おまつり（岩手県ブース）

V 【 連携・支援 】

1 各種キャンペーン支援事業

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会の活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会が行うスキー客等の冬季観光客の誘客活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア 観光関係催事への参加、出展

県や関係機関等が実施する各種観光キャンペーンへの支援・協力を行ったほか、観光情報の発信などを目的とした観光イベント等に参加・出展し、観光 P R を行った。

《 主な対応状況 》

実施日	開催地	イベント名称等
H30. 4. 21～4. 22	愛知県	第 5 回日本各地の名産・観光巡りフェア
H30. 5. 20	兵庫県	神戸まつり
H30. 6. 2～6. 3	盛岡市	東北絆まつり 2018 盛岡「つながるフェスタ in いわて盛岡」

H30. 7. 7～7. 8	東京都	第3回東北の魅力発見フェア in 二子玉川ライズ
H30. 11. 17～11. 18	東京都	第10回池袋鉄道まつり
H31. 3. 2～3. 3	愛知県	東北・信越観光物産博
H31. 3. 22～3. 24	東京都	東京モーターサイクルショー2019

イ 後援、共催

(一社)平泉観光協会が主催する「春の藤原まつり」など、45のイベント等に対して後援・共催を行った。

2 魅力ある観光地づくり支援事業

地域の特色を生かした魅力ある観光地づくりに取り組む4団体の事業に対して助成を行った。

支 援 先	事 業 内 容 等
一関・平泉バルーンフェスティバル 実行委員会	熱気球を活用した観光地域づくり事業
陸中海岸魚彩王国実行委員会	地域素材創出事業
久慈市ガイドの会	観光のまち「久慈」市民ガイド活動基盤づくり事業
花巻温泉郷観光推進協議会	花巻観光まちづくり推進事業

3 (公社) 日本観光振興協会への拠出金

(公社) 日本観光振興協会の全国広域観光振興事業の推進のため、協会に対して拠出金を拠出した。

4 (一社) 東北観光推進機構事業

東北七県・民間団体等で構成する「(一社) 東北観光推進機構」が行う、オール東北による海外プロモーションや教育旅行の誘致活動などの観光客誘客事業を通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、機構に対して負担金を拠出した。

5 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県等で構成する「北東北三県観光立県推進協議会」が行う、北東北三県の広域観光マップの作成や台湾・香港・タイからの関係者招請事業などの観光客誘客事業を通じ本県への観光客の誘致拡大を図るため、協議会に対して負担金を拠出した。

6 観光宣伝事業等負担

(公社) 日本観光振興協会、岩手県空港利用促進協議会、みちのく五大雪まつり推進協議会、チャグチャグ馬コ保存会等の観光団体に対して負担金を支出した。

事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の平成30年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。